尚絅学院大学について

1 建学の精神

「キリスト教精神に基づく教育によって、自己を深め、他者と共に生きる人間を育てる」

尚絅学院は、1892年アメリカ合衆国のバプテスト派婦人外国伝道協会から派遣された女性宣教師たちによって、キリスト教教育のための「尚網女学会」として創設されました。創設者の宣教師たちの思いである、「キリスト教精神に基づく教育によって、自己を深め、他者と共に生きる人間を育てる」を尚絅学院の建学の精神として、これまで守り、継承して来ました。

2 校名の由来

「尚絅」の校名は中国の古典『中庸』の１節である衣錦尚絅から採られました。それは、金や銀、色鮮やかな糸で織られた美しい着物を着ていたとしても、それを見せて驕るのではなく、その上に質素な麻の打掛をまとい、錦のきらびやかさをつつましく被うという君子の道を説いた言葉です。

初代校長アニー S. ブゼルはこの校名の由来を聞き、その謙虚な精神はキリスト教においても重要な精神の一つであるとし、それを説いた聖書の箇所、『新約聖書』ペトロの手紙Ⅰ第３章３～４節を示しました。すなわち「あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです」。建学以来、この校名が示す、「外面ではなく内面を豊かにする」人間を目指すことを、尚絅学院のスクールモットーとしています。

初代校長　アニー S. ブゼル
（1866～1936）

3 教育理念

「キリスト教精神と豊かな教養によって内面をはぐくみ、他者への愛と奉仕の心をもって社会に貢献する人間を育成する」

尚絅学院は、明治以来133年にわたり、一貫してキリスト教の精神を土台とする人間教育を行ってきた伝統ある学園です。長い歴史の中で、常にその時代その社会に生きる人間のあるべき姿を追求してきました。本学は、尚絅学院の建学の精神をしっかりと受け継ぎ、「キリスト教精神と豊かな教養によって内面をはぐくみ、他者への愛と奉仕の心をもって社会に貢献する人間を育成する」ことを教育理念としています。

4 ブランドコンセプト

ブランドコンセプト

＜ブランドステートメント＞※

Passion with Mission

熱い心、響かせる

東北に生きる人々の力になりたい、もっとしたいこと、できることがある。
尚絅学院大学は、各々の内面にある熱意を高め、実現する力を育成します。
そのために、学生と教職員が一つになって、尚絅VISIONを追求します。

＜尚絅VISION＞

教育研究と社会貢献のあらゆる活動のなかで、本学のブランド価値を高める最も重要な3大方針。

1. 心を響かせる	2. 自信をみがく	3. キャンパスをひらく
共感を熱意にし、自分を高める。 目の前の人や地元をもっと元気にする、 東北一の大学をめざします。	小さな「面白い！」をつみ重ね、自信にする。 学問と実践の接点をめいっぱい経験する、 東北一の大学をめざします。	多様な人々と率先して交わり、地域に 貢献する。わざわざ来たくなる賑わいを 創る、東北一の大学をめざします。

※本学のブランドを象徴する文言であり、目指すべき社会的評価です。

5 沿　革

1892年（明治25年）米国バプテスト派婦人宣教師 L. ミードにより「尚絅女学会」開校
1896年（明治29年）エラ・オー・パトリックホーム　落成
1899年（明治32年）私立学校令により「私立尚絅女学校」として正式認可をうける（初代校長にアニー S. ブゼル就任）
1948年（昭和23年）校名を「尚絅女学院」と改称
1950年（昭和25年）尚絅女学院短期大学（家政科・英語科）開学
　初代学長にメリー D. ジェッシー就任
1952年（昭和27年）学長事務取扱に大立目文弥就任
1953年（昭和28年）第２代学長に松村義敏就任
1955年（昭和30年）保育科設置
1956年（昭和31年）尚絅女学院幼稚園設置
　学長事務取扱にビュラー M. マコーイ就任
1957年（昭和32年）第３代学長に千葉勇就任
1960年（昭和35年）第４代学長に吉井正敏就任
1963年（昭和38年）学長事務取扱に齊藤久吉就任、11月第５代学長に齊藤久吉就任
1964年（昭和39年）専攻科保育専攻設置
1967年（昭和42年）荒巻校舎落成・英文科設置
1968年（昭和43年）保育科荒巻校舎に移転
1970年（昭和45年）第６代学長に島田正雄就任
1977年（昭和52年）第７代学長に木村和彦就任
1980年（昭和55年）学長事務取扱に稲瀬正夫就任
1982年（昭和57年）第８代学長に稲瀬正夫就任
1989年（平成元年）短期大学名取キャンパスに統合移転
　人間関係科設置
1991年（平成３年）第９代学長に小川圭治就任
1994年（平成６年）専攻科食物栄養専攻設置
　専攻科食物栄養専攻・同保育専攻が学位授与機構より認定
1995年（平成７年）専攻科生活科学専攻設置、合わせて学位授与機構より認定
1997年（平成９年）第10代学長に宍戸朗大就任
2000年（平成12年）短期大学附属幼稚園が名取市ゆりが丘に移転開園
2003年（平成15年）「学校法人尚絅女学院」を「学校法人尚絅学院」と改称
　尚絅学院大学（総合人間科学部人間心理学科・健康栄養学科）開学
　初代大学学長に渡部治雄就任
　第11代女子短期大学部学長に鈴木義元就任
2006年（平成18年）第12代女子短期大学部学長に渡部治雄就任
2007年（平成19年）大学院（総合人間科学研究科心理学専攻・健康栄養科学専攻）開学
　総合人間科学部表現文化学科・現代社会学科・生活環境学科設置
2008年（平成20年）第２代大学学長・第13代女子短期大学部学長に佐々木公明就任
2009年（平成21年）図書館棟「almo（アルモ）」・園芸実習棟「エコラボ」落成
2010年（平成22年）総合人間科学部子ども学科設置
　エラ・オー・パトリックホーム名取キャンパスに移築・復元
2011年（平成23年）女子短期大学部廃止
2012年（平成24年）礼拝堂落成
2014年（平成26年）第３代学長に合田隆史就任
2015年（平成27年）生活環境学科を環境構想学科に改編
2016年（平成28年）大学院臨床心理実習棟「ティクヴァ」落成
2017年（平成29年）大学院（総合人間科学研究科人間学専攻）設置
2019年（平成31年）３学群５学類へ再編
2020年（令和２年）第２体育館「結（ゆい）」落成
2022年（令和４年）第４代学長に鈴木道子就任
2023年（令和５年）大学院（総合人間科学研究科公共社会学専攻）設置
2026年（令和８年）第５代学長に髙木龍一郎就任

尚絅最初の校舎、エラ・オー・パトリックホーム
（1896年築　仙台市青葉区広瀬町）

現在のエラ・オー・パトリックホーム
（2010年11月広瀬町から移築復元）

6 礼拝とキリスト教関連行事

本学では、建学の精神に基づき、キリスト教を土台とした教育を行っています。

講義のなかにキリスト教に関する科目が必修としておかれている他に、教育プログラムの一貫として「礼拝」が行われています。また、年間予定の中に各種のキリスト教関連行事が組み入れられています。

1．礼拝

本学の建学の精神を理解し、その精神を内在化させるために、礼拝出席は伝統的に《価値あるもの》と位置づけられています。礼拝は、本学が使命とするキリスト教の精神に基づく人間形成を、より有効に、より積極的に推進していくためのもっとも中心的な宗教教育プログラムとして行われています。

全学生一人ひとりが、礼拝を通してキリスト教の精神に親しみ、キリスト教的人生観・世界観・倫理観を正しく理解し、自己の品性を磨き、それぞれの人間形成に役立つことを願っています。

礼拝は、通常、毎週月曜日と木曜日の10:30 ～ 11:05に礼拝堂において行われ、「礼拝カード」で出欠を確認します。本学では1年次を「キリスト教集中年」と位置づけ、新入生の皆さんがキリスト教の礼拝を体験し、尚絅学院大学の学生としての基礎を身につけていただく期間としています。各自、聖書と讃美歌を持参して主体的に出席してください。音楽礼拝や英語礼拝、特別講師を招いた特別礼拝等のプログラムもあります。

礼拝は、司会者・奨励者・奏楽者と出席者全員が心を合わせて神の御前に立つ時間です。そこでは学生、教員職員の区別はありません。心を静かに整えて礼拝に臨みましょう。

2．キリスト教関連行事

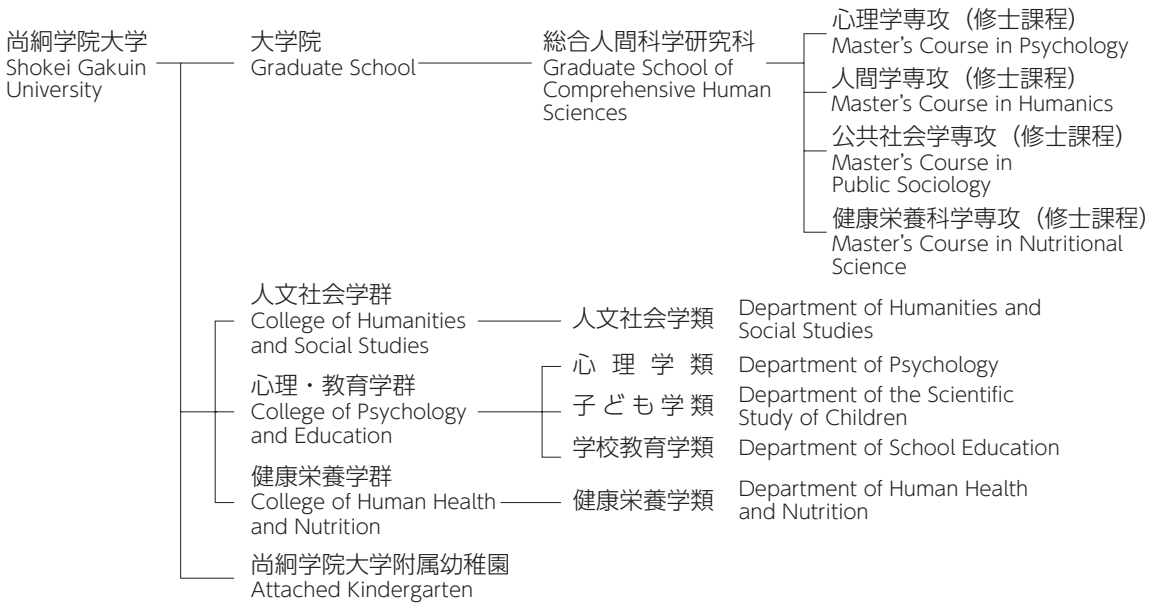
（1）金曜賛美礼拝：金曜賛美礼拝は、学生の主体的な奉仕の場として始められ、各団体（チャペルメイト、聖歌隊、YMCAなど）が担当して礼拝を行います。月曜日・木曜日の定期礼拝には授業のため参加できないという学生の皆さんにも参加いただける場となっています。

（2）アドヴェントコンサート：クリスマスを待ち望むアドヴェントの期間に、聖歌隊によるコンサート、オルガンコンサート、メサイア演奏会など盛りだくさんの企画が行われます。

（3）クリスマス礼拝：神の御子、イエス・キリストの降誕をよろこび祝うクリスマス礼拝は、12月中旬に行われます。全学をあげて守られるもっとも大きな行事となっています。

3．その他の活動

昼休みには「聖書を読む会」、「金曜賛美礼拝」などが行われています。授業後の時間には、聖歌隊、ハンドベルクワイヤ、チャペルメイト、YMCAが活動をしています。詳しくは年に数回発行されている宗教部便り「シャローム」をお読みください。

礼拝堂外観

7 学群・学類組織図